

教 科	科 目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
公 民	公共	2学年 普通科 国際科	2単位	公共 (東京書籍)	ライブ！2023 公共、現代社会を考える(帝国書院)

到達目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
------	--

評価の観点	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることができた。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的、多面的・多角的に追究し解決しようとする態度を身に付けることができる。

学習の評価	① 定期考査において、A 知識・技能、B 思考・判断・表現を主に評価する。 ② 論述やレポートの作成、小テスト等で A 知識・技能、B 思考・判断・表現を、論述やレポートの作成、課題への取り組み方等で C 主体的に学習に取り組む態度を主に評価する。 ① ②の評価および出席状況を加味し、総合的に評価する。
-------	---

単 元	学習内容	到達目標
1 部 「公共」の とびら	1章 社会のなかの自己	・青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義について主体的に追究する。
	2章 共に生きるための倫理	・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとしての功利主義や義務論の考え方を理解するとともに、それらを使って生命倫理や環境倫理にかかわる課題について主体的に追究する。
	3章 私たちの民主的な社会	・公共的空間の基本原則とされる民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解するとともに、それらが大切である理由やそれらを実現する上での課題について主体的に追究する。
2部 自立した 主体として	1章 民主政治と私たち	・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解するとともに、それらにかかわる課題について主体的に追究する。

社会に参画 する私たち	2章 法の働きと私たち	・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の社会生活の事象と関連させながら理解するとともに、それらにかかわる課題について主体的に追究する。
	3章 経済社会で生きる私たち	・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと動き、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。 ・経済のしくみや動向についての基礎的理解を基礎に、経済についての政策、財政や金融に関する政策課題、社会保障にかかわる課題について関心を持って考察し、主体的に追究する。
	4章 私たちの職業生活	・資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。 ・働くことの意義、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題について主体的に追究する。
	5章 国際社会のなかで生きる私たち	・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。 ・国際政治、国際経済にかかわる諸課題について主体的に追究する。
3部 持続可能な 社会づくりに 参画するた めに		・現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりして、その解決に向けて主体的に追究する。 ・探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりする。